



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ネクソン

コード番号 3659 URL <http://www.nexon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 崔 承祐

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理本部長 (氏名) オーウェン・マホニー TEL 03-3523-7910

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	53,253	-	28,063	-	27,045	-	19,146	-
23年12月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 23,501百万円 (-%) 23年12月期第2四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	44.41	43.12
23年12月期第2四半期	-	-

(注) 当社は、平成23年12月期第3四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年12月期第2四半期の実績及び対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	295,793	202,656	67.3
23年12月期	235,765	177,886	73.8

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 198,931百万円 23年12月期 173,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
24年12月期	-	0.00	-	-	-
24年12月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定でありませ

3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,334	19.1	47,082	23.1	46,043	24.8	32,737	27.1	75.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期2Q	433,685,900株	23年12月期	426,132,900株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	一株	23年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期2Q	431,084,043株	23年12月期2Q	一株

(注) 当社は、平成23年12月期第3四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年12月期第2四半期の期中平均株式数（四半期累計）については記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断できる一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

平成24年12月期第3四半期連結業績予想（平成24年7月1日～平成24年9月30日）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期	24,943	3.3	9,249	△15.5	9,191	△9.6	6,598	△8.8	15.24

（注）当社グループは、通期の業績予想に加え、次四半期の業績見通しを公表することといたします。また、公表された直近の予想に対し、売上高が10%、営業利益、経常利益もしくは四半期純利益が30%以上乖離した修正予想値が算出された場合には、業績予想の修正を公表することといたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな回復過程にありましたが、欧州債務問題の長期化や先進国経済の景気回復の遅れ、鈍化しつつある新興国経済の成長などから、先行きが不透明となっております。アジア地域においては、欧米経済の減速に加え、内需も伸び悩んでおり、成長のスピードは緩やかになっています。

一方、わが国経済は、海外経済の下振れなどの懸念はあるものの、復興需要等を背景に生産活動や個人消費などに持ち直しの動きが見られ、緩やかに回復しつつあります。

このような状況の中、当社グループはオンラインゲーム事業を中心にモバイルゲーム事業及びその他事業を展開し、幅広いユーザーへ向けたクオリティの高いサービスの提供、多様化するユーザーの嗜好に対応できる秀逸なコンテンツの獲得に積極的に努め、既存タイトルのアップデート及び新規タイトルの配信を推し進めてまいりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は53,253百万円、営業利益は28,063百万円、経常利益は27,045百万円、四半期純利益は19,146百万円となりました。

報告セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 日本

日本国内におきましては、「テイルズウィーバー」、「カウンターストライクオンライン」、「サドンアタック」等が好調に推移する一方で、一部タイトルでは減収となった結果、売上高は5,917百万円、セグメント利益は455百万円となりました。

② 韓国

韓国国内におきましては、「サドンアタック」の好調な推移や、中国における「ダンジョン・アンド・ファイター（日本名：アラド戦記）」の飛躍的な売上高増加に伴うロイヤリティ収入の増加により、売上高は41,879百万円、セグメント利益は26,264百万円となりました。

③ 中国

中国国内におきましては、中国オンラインゲーム市場の成長に伴いコンサルティング収入が増加したことから、売上高は2,002百万円、セグメント利益は1,360百万円となりました。

④ 北米

北米地域におきましては、前連結会計年度末に発生した「メイプルストーリー」におけるハッキングへの対応によりアップデートが遅れが生じた結果などを原因として、売上高は2,496百万円、セグメント損失は244百万円となりました。

⑤ その他

その他地域におきましては、売上高は前年比では微減で推移いたしました。為替などの影響により、売上高は958百万円、セグメント利益は246百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は105,940百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は23,450百万円となりました。この主な内容は、税金等調整前四半期純利益25,737百万円、減価償却費4,810百万円、法人税等の支払額9,232百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は73,131百万円となりました。この主な内容は、定期預金の増加額10,020百万円、関係会社株式の取得による支出4,482百万円、投資有価証券の取得による支出56,440百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は37,551百万円となりました。この主な内容は、短期借入れによる収入53,125百万円、長期借入金の返済による支出17,043百万円等によるものです。

② 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は295,793百万円となり、前連結会計年度末に比べて60,027百万円増加しております。

流動資産の残高は146,297百万円となり、現金及び預金の減少（前期末比3,389百万円減少）等により、前連結会計年度末から4,424百万円減少しております。

固定資産の残高は149,495百万円となり、投資有価証券の増加（前期末比64,176百万円増加）等により、64,452百万円増加しております。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は93,136百万円となり、前連結会計年度末に比べて35,257百万円増加しております。

流動負債の残高は72,653百万円となり、短期借入金の増加（前期末比53,095百万円増加）、1年内返済予定の長期借入金の減少（前期末比2,828百万円減少）等により、前連結会計年度末から48,091百万円増加しております。

固定負債の残高は20,483百万円となり、長期借入金の減少（前期末比13,767百万円減少）等により、前連結会計年度末から12,833百万円減少しております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は202,656百万円となり、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加（前期末比19,146百万円増加）、その他有価証券評価差額金の増加（前期末比3,073百万円増加）等により24,769百万円増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現状および売上高実績の推移を踏まえて、第3四半期以降の売上高について見直しを行い、2012年12月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしました。

なお、下記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって業績予想と異なる場合があります。

平成24年12月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	108,338	52,234	53,011	37,800	87.88
今回修正予想 (B)	104,334	47,082	46,043	32,737	75.88
増減額 (B - A)	△4,004	△5,151	△6,967	△5,062	—
増減率 (%)	△3.7	△9.9	△13.1	△13.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年12月期)	87,613	38,249	36,905	25,755	71.65

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

一部の連結子会社は原則的な処理によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	132,479	129,089
受取手形及び売掛金	13,845	12,588
有価証券	12	95
商品	40	49
その他	4,367	4,482
貸倒引当金	△22	△8
流動資産合計	150,722	146,297
固定資産		
有形固定資産	16,016	17,781
無形固定資産		
ゲーム著作権	31,163	28,479
のれん	11,595	12,538
その他	1,315	1,396
無形固定資産合計	44,074	42,413
投資その他の資産		
投資有価証券	17,002	81,178
その他	10,766	10,840
貸倒引当金	△2,815	△2,717
投資その他の資産合計	24,952	89,300
固定資産合計	85,043	149,495
資産合計	235,765	295,793
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	981	934
短期借入金	—	53,095
1年内返済予定の長期借入金	2,994	166
未払法人税等	6,671	4,839
前受収益	8,111	7,896
賞与引当金	1,082	712
資産除去債務	47	17
その他	4,672	4,990
流動負債合計	24,562	72,653
固定負債		
長期借入金	18,567	4,800
長期前受収益	5,707	5,038
退職給付引当金	203	179
負ののれん	3,553	3,169
資産除去債務	117	146
その他	5,167	7,149
固定負債合計	33,316	20,483
負債合計	57,878	93,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,300	51,054
資本剰余金	50,162	50,914
利益剰余金	90,757	109,903
株主資本合計	191,219	211,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	3,545
為替換算調整勘定	△17,711	△16,487
その他の包括利益累計額合計	△17,239	△12,941
新株予約権	455	354
少数株主持分	3,451	3,370
純資産合計	177,886	202,656
負債純資産合計	235,765	295,793

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	53,253
売上原価	8,223
売上総利益	45,030
販売費及び一般管理費	16,966
営業利益	28,063
営業外収益	
受取利息	721
負ののれん償却額	460
雑収入	311
営業外収益合計	1,493
営業外費用	
支払利息	255
為替差損	277
持分法による投資損失	1,833
雑支出	143
営業外費用合計	2,510
経常利益	27,045
特別利益	
固定資産売却益	3
持分変動利益	92
特別利益合計	96
特別損失	
固定資産除売却損	40
減損損失	1,354
持分変動損失	9
特別損失合計	1,404
税金等調整前四半期純利益	25,737
法人税等	6,534
少数株主損益調整前四半期純利益	19,203
少数株主利益	57
四半期純利益	19,146

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成24年1月1日
至 平成24年6月30日)

少数株主損益調整前四半期純利益	19,203
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	3,073
為替換算調整勘定	1,038
持分法適用会社に対する持分相当額	185
その他の包括利益合計	4,297
四半期包括利益	23,501
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	23,444
少数株主に係る四半期包括利益	56

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成24年1月1日
至 平成24年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	25,737
減価償却費	4,810
のれん償却額	1,200
負ののれん償却額	△460
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△169
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△391
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△28
受取利息及び受取配当金	△747
支払利息	255
為替差損益 (△は益)	228
減損損失	1,354
持分法による投資損益 (△は益)	1,833
売上債権の増減額 (△は増加)	1,669
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,764
仕入債務の増減額 (△は減少)	△63
前受収益の増減額 (△は減少)	△1,089
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△253
その他	36
小計	32,159
利息及び配当金の受取額	787
利息の支払額	△263
法人税等の支払額	△9,232
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,450

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成24年1月1日
至 平成24年6月30日)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	△10,020
有価証券の増減額 (△は増加)	△83
有形固定資産の取得による支出	△1,473
有形固定資産の売却による収入	43
無形固定資産の取得による支出	△425
長期前払費用の増加を伴う支出	△246
短期貸付けによる支出	△110
短期貸付金の回収による収入	1,908
長期貸付金の回収による収入	4
投資有価証券の取得による支出	△56,440
投資有価証券の売却による収入	389
子会社株式の取得による支出	△559
関係会社株式の取得による支出	△4,482
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,231
事業譲受による支出	△1,750
預金の担保提供による支出	△14,032
預金の担保解除による収入	15,043
その他	335
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	53,125
長期借入れによる収入	327
長期借入金の返済による支出	△17,043
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△276
ストックオプションの行使による収入	1,416
その他	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	37,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	471
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,658
現金及び現金同等物の期首残高	117,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	105,940

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	日本	韓国	中国	北米	計			
売上高								
外部顧客への売上高	5,917	41,879	2,002	2,496	52,295	958	—	53,253
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,337	—	56	2,393	—	△2,393	—
計	5,917	44,216	2,002	2,552	54,688	958	△2,393	53,253
セグメント利益又は 損失(△)	455	26,264	1,360	△244	27,836	246	△19	28,063

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、欧州が含まれておりま
す。

2. セグメント利益又は損失の調整額△19百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	日本	韓国	中国	北米	計			
減損損失	14	1,339	—	—	1,354	—	—	1,354

(のれんの金額の重要な変動)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	日本	韓国	中国	北米	計			
当期償却額	80	1,119	—	—	1,200	—	—	1,200
当期末残高	1,795	10,743	—	—	12,538	—	—	12,538

(負ののれんの金額の重要な変動)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	日本	韓国	中国	北米	計			
当期償却額	—	460	—	—	460	—	—	460
当期末残高	—	3,169	—	—	3,169	—	—	3,169

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 地域ごとの情報

(売上高)

(単位：百万円)

日本	韓国	中国	北米	その他	合計
5,923	15,108	25,912	2,913	3,396	53,253

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………米国、カナダ

(2) その他……………欧州及びアジア諸国、中南米

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

著しい変動がないため記載を省略しております。

(7) 重要な後発事象

(借入金の借換え)

当社は、円及び米ドルにおける全体実質調達コストを抑え、将来の成長への投資戦略に有効に活用するため、平成24年7月31日付で株式会社三井住友銀行から資金を新規に調達し、同日付で同行と平成24年6月29日に締結した特殊当座借越契約による借入金50,000百万円を返済する借換えを実行しました。

当該借換えの内容は以下のとおりです。

(1) 借入先の名称

株式会社三井住友銀行

(2) 借換えの内容

金額： 34,000百万円及び200百万米ドル

期間： 平成24年7月31日から5年

返済条件：平成25年1月31日を第1回とし、以降半年毎の末日に5,000百万円ずつ返済

利率： 1.41%

(3) 借換えの実施時期

平成24年7月31日

(4) 借換えによる影響

借換えによる借入利息の重要な増減等は見込んでおりません。

(5) 担保提供資産

投資有価証券 60,443百万円

上記金額は、平成24年6月末日現在の帳簿価額であります。